

休眠預金活用事業 事業計画

事業名(主)	伝統ものづくり産業のデジタル化による担い手育成支援と販売支援
事業名(副)	デジタルアーカイブによる技術とノウハウの伝承とブランド化の実現へ

事業の種類1	②イノベーション企画支援事業
事業の種類2	
事業の種類3	
事業の種類4	
団体名	一般社団法人福岡デザインアクション

優先的に解決すべき社会の諸課題

領域①	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	分野①	⑦ 地域の働く場づくりの支援や地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援
領域②		分野②	
領域③		分野③	
領域④		分野④	

その他の解決すべき社会の課題	
----------------	--

SDGsとの関連

ゴール	ターゲット	関連性の説明
4.すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	4.3 2030年までに、全ての人が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。	デジタルアーカイブにより職業教育や技術の情報に比較的容易にアクセスできるようになる
5.ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	5.1 あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。	伝統ものづくり産業の職人の世界に残る男女差別の撤廃
9.強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る	9.1 全ての人が安全で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。	デジタルアーカイブを技術・ノウハウのインフラとして地域問わずアクセスできるよう整備。

実施時期	2022年12月～2025年3月	直接的対象グループ	伝統ものづくり産業に携わる人々。狭義には職人、広義には生産業者、流通業者、営業、経理等を含む従事する人々。	最終受益者	・技術ノウハウをもった職人や事業者 ・新規参加者、職人 ・伝統ものづくり産業に携わる商社等の事業者
対象地域	福岡県、佐賀県、大分県	人数	200名	人数	2000人

I.団体の社会的役割

(1)団体の目的
福岡のデザイン産業の将来を見据えて、社会的な地域との関わりの中で育まれてきた「価値」の認識を新たにして、国内外への競争力を持ったデザイン環境の確立を目指して、デザインアーカイブや福岡・九州の現況のより深化したデザイン発信などの諸活動を行うことを目的として設立

II.事業の背景・社会課題

(1)社会課題概要
伝統ものづくり産業では担い手不足・販売力不足・消費の低下等により産業が衰退している。その結果、儲からない業界となれば新規参加者も少なく、産業従事者不足から販売力等の低下という悪循環に陥っている。

(2)団体の概要・活動・業務

福岡・九州地域の経済・産業の発展や社会生活の向上に寄与し、アジアのデザインの交流がもっとも身近に開かれている福岡のデザイン先進都市としての発展に寄与すべく活動。福岡・九州地域の若いデザイナーや建築家の育成を支援し、学校教育に 寄与する学術的資料提供を行う。

(2)社会課題詳説 ・職人の数が減少しており、加えて職人が技術の承継を行えなくなっている。 ・伝統ものづくり産業に関係する事業者の衰退により従業員等の働く場が消失している。 従業者数 1979年の28.8万人がピークで2013年には約6.5万人と、最盛期の1/5の水準。 平成21年度の時点で50歳以上の従事者の割合は64%、30歳未満が5.6%となっている(経産省公表)。 ＊ 九州北部地域については調査中。 ○社会課題は存続し続けている要因 ・業界の売上減少(消費低下含む) ・技術等ノウハウの取得や承継に時間を要する ・伝統ものづくり産業における担い手・後継者育成、販売展開の為の支援が少ない ・伝統ものづくり産業界において、業種ごとには縦割りとなっており横串がない。 ・生産の分業制、生産から販売まで一貫通貫ではない等の産業の構造的問題
(3)課題に対する行政等による既存の取組み状況 車発や縦割りの補助制度はあるが継続していない。また伝統的産業といった特定の業種に絞られていたり、広く補助する仕組みとなっていない。
(4)課題に対する申請団体の既存の取組状況 九州ヴォイスという店舗を太宰府天満宮参道、西鉄ソラリアステージ、西鉄大橋駅で展開しており、取扱商品に竹細工、博多織、波佐見焼、大川木工家具等といった伝統ものづくり産業の商品があり、仕入れをはじめ、日ごろから職人・業者と接しており、業界の課題等をヒアリングしている。
(5)休眠預金等交付金に係わる資金の活用により本事業を実施する意義 職人 技術の承継、後継者育成の不安解消 新規参入者 技術の習得と自立 事業者 販売力強化による売り上げ向上

III.事業

(1)事業の概要 伝統ものづくり産業において、技術・ノウハウのデジタルアーカイブの整備により、誰でもいつでもどこからでもその情報にアクセスできる環境を作り担い手の増加に繋げる。また作品をブランディングして時計等のように高付加価値商品として販売し収益性を高め産業の底上げを行う。

(2)活動(資金支援)		時期
事業活動 0年目	—	資金計画表に基づく
事業活動 1年目	—	—
事業活動 2年目	—	—
事業活動 3年目	—	—

(3)活動(組織基盤強化・環境整備(非資金の支援))		時期
事業活動 0年目	—	—
事業活動 1年目	—	—
事業活動 2年目	—	—
事業活動 3年目	—	—

(4)短期アウトカム(資金支援)	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
支援対象者が、それぞれ連携して情報を共有できる環境の整備。支援対象者の連携・意識向上のための環境整備。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により、(対象グループ)が(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により、(対象グループ)が(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により、(対象グループ)が(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により、(対象グループ)が(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により、(対象グループ)が(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により、(対象グループ)が(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により、(対象グループ)が(x x x)になる。	－	－	－	－

(5)短期アウトカム (組織基盤強化・環境整備支援(非資金的支援))	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により(x x x)になる。	－	－	－	－
(対象地域)において、(〇〇の活動結果)により(x x x)になる。	－	－	－	－

(6)中長期アウトカム
事業終了後●年後に(対象地域)において()により、(対象グループ)が()された地域や社会になる。

IV.実行団体の募集

(1)採択予定実行団体数	5団体
(2)実行団体のイメージ	織物団体、陶磁器団体、竹細工団体、販路開拓等売上向上のための支援団体
(3)1実行団体当り助成金額	約2000万円
(4)助成金の分配方法	－
(5)案件発掘の工夫	－

V.評価計画

項目	事前評価	中間評価	事後評価
提出時期	2022年12月	2024年12月	2025年3月
実施体制	外部から専門家を招聘し自己評価するためのスキルを取得。 当社運営協議会で評価を行う。	外部から専門家を招聘し自己評価するためのスキルを取得。 当社運営協議会で評価を行う。	外部から専門家を招聘し自己評価するためのスキルを取得。 当社運営協議会で評価を行う。
必要な調査	関係者へのインタビュー	関係者へのインタビュー	関係者へのインタビュー
外部委託内容	ワークショップ	アンケート調査	アンケート調査

VI.事業実施体制

(1)事業実施体制	－
(2)コンソーシアム利用有無	コンソーシアムで申請しない
(3)メンバー構成と各メンバーの役割	－
(4)ガバナンス・コンプライアンス体制	－

VII.出口戦略と持続可能性

(1)資金分配団体	デジタルアーカイブの利用者には登録料を支払ってもらいアクセスしたい情報毎に価格を設定し登録料とは別に利用料を支払う。その収益で職人と産業界に分配し、かつ運営費を賄う。
(2)実行団体	日本の伝統ものづくり産業をヴィトンやフェラガモ、パテックフィリップのように職人の作品をブランディングすることが本事業の出口。それにより販売力の強化に繋がる。

VIII.広報、外部との対話・連携戦略

(1)広報戦略	地元金融機関や自治体と連携し世代に幅広い広報ツールを備える。
(2)外部との対話・連携戦略	－

IX.関連する主な実績

(1)助成事業の実績と成果
観光庁 拠点既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業、予算規模1億円を採択され、西日本鉄道、つくしの交通、大丸別荘、西日本シティ銀行等の事業者連携の代表団体として実施。単年事業ではあるが予算の分配を行った。
(2)申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等
九州ヴォイスという店舗を太宰府天満宮参道、西鉄ソラリアステージ、西鉄大橋駅で展開しており、取扱商品に竹細工、博多織、波佐見焼、大川木工家具等といった伝統ものづくり産業の商品があり、仕入れをはじめ、日ごろから職人・業者と接しており、業界の課題等をヒアリングしている。一般社団法人SiNKaと連携。

X.申請事業種類別特記事項

(1)草の根活動支援事業	
(2)ソーシャルビジネス形成支援事業	
(3)イノベーション企画支援事業	後継者・担い手の不足により技術やノウハウの承継が行われにくくなっている。現に福岡県の博多鉄では近年最後の職人が亡くなり技術が途絶えた。伝統ものづくり産業全体で衰退していった中、職人の高齢化も進み残された時間に限りもある。そこで、今だからこそ、職人の技術・ノウハウをデジタルアーカイブとして保存し、技術やノウハウを取得したい人がいつでもどこからでもアクセス出来て学ぶことが出来る環境の整備を行う。利用者には登録料を支払ってもらいアクセスしたい情報毎に価格を設定し登録料とは別に利用料を支払う。
(4)災害支援事業	

以 上